

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度所沢市立学校給食センター運営委員会
開 催 日 時	平成28年7月14日(木) 午前10時から午前11時30分
開 催 場 所	所沢市立第1学校給食センター 会議室
出 席 者 の 氏 名	山中徳子・宮井俊充・金成恵津子・山口恵美子・小山裕巳・京谷圭子・須田雅美・松坂由香・前野直弘・菊池義信・橋本千恵子・手嶋栄子・山口きう子・五十嵐典子・松本恵美子・関根恵子
欠 席 者 の 氏 名	橋本徳邦・伊東成未・森山 稔
議 題	(1) 平成27年度 学校給食センター運営概要について 運営実績 学校給食センター実施状況 (2) 平成28年度 学校給食センターの運営について 学校給食運営計画 年間献立計画 学校給食用物資規格及び納入指定業者 (3) 学校給食施設について (4) その他
会 議 資 料	次 第 所沢市学校給食センター運営委員会委員名簿 平成28年度所沢市立学校給食センター運営委員会 資料 学校給食衛生管理マニュアル(平成28年度版) 所沢市物資規格書(平成28年度版) 学校給食施設について 資料 牛乳パックリサイクルリーフレット
担 当 部 課 名	教育委員会 教育長 内藤隆行 学校教育部 部長 田中和貴 保健給食課 課長 川上一人 主査 神谷房江 主査 手塚和美 主査 高橋亘 栄養士 田中ゆり子 第1学校給食センター 所長 青木操 栄養教諭 工藤優子 第3学校給食センター 所長 市川元広 主査 鹿島陽志美 保健給食課:04-2998-9249 第1学校給食センター:04-2949-3740 第3学校給食センター:04-2942-2972

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
保健給食課 神谷主査	開会
内藤教育長	委嘱状の交付 あいさつ
菊池会長	会議の公開・非公開：公開とする。 会議録の記録方法：要約方式とし、発言者名は公開とする。 会議録の確定方法：会長の承認により確定する。 以上のことを承認されたい。
全委員	承認。
保健給食課 手塚主査	<p>【議題 1 平成 27 年度学校給食センター運営概要について】</p> <p>運営実績</p> <p>資料に基づき、平成 27 年度における給食センターの稼働日数、給食費、実施人員、実施回数、給食費決算、平成 27 年度学校給食における施設・設備、食育指導、学校と家庭との相互理解、地場産物の使用状況について説明。</p>
第 1 学校給センター青木所長	<p>平成 27 年度学校給食センター実施状況</p> <p>資料に基づき、平成 27 年度第 1 給食センターの概要、給食費告を説明。</p>
第 3 学校給センター市川所長	<p>資料に基づき、平成 27 年度第 3 給食センターの概要、給食費の決算報告を説明。</p>
全委員	議題 1 について承認。
川上保健給食課 長	<p>【議題 2 平成 28 年度学校給食センターの運営について】</p> <p>平成 27 年度学校給食運営計画</p> <p>資料に基づき、平成 28 年度学校給食の実施日数、</p>

<p>第 1 学校給食センター工藤栄養教諭 第 3 学校給食センター鹿島主査</p>	<p>給食人員、実施予定回数、食育計画を説明。 年間献立計画資料に基づき、平成 28 年度学校給食における年間の献立計画を説明。 資料に基づき、平成 28 年度学校給食における学校給食用物資規格及び納入指定業者、衛生管理マニュアルについて説明。</p>
<p>全委員</p>	<p>議題 2 について承認。</p>
<p>菊池会長</p>	<p>【議題 3 学校給食施設について】 本委員会では、昨年度 2 回に亘り、給食センターの現状と課題を審議してきた。 そこでは、現在稼働する 2 つの学校給食センターについて、共に老朽化が進んでおり、食の衛生管理の徹底や職員の労働環境等を考慮すれば、新しい施設の整備が必要であることが協議された。 そして、施設整備にあたっての留意点として、地場産食材の使用拡大を可能とすることや、子どもたちへの食育を推進するための機能を有すること、また、食物アレルギー対応の充実等の多くの意見をいただってきた。 現在、事務局では給食センターの再整備に関して、どのような取組を進めているか。</p>
<p>川上保健給食課長</p>	<p>静岡県袋井市立中部学校給食センターの視察について説明。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>先ほどの運営概要の報告からも、給食センター関係者の意欲が伝わってきた。給食センターの再整備に関しては、子どもたちへの食育の指導が向上するような施設の建設が必要と考える。</p>
<p>菊池会長</p>	<p>日本は進んでおり、小学校から食育活動を行っているが、海外ではそこまで行われていない。所沢市でも給食を活用した食育活動を進めている。施設を活用するなどにより食育活動がさらに充実されることを望む。</p>
<p>京谷委員</p>	<p>子どもたちにとって食育は大変重要な取組である。子どもの時の食生活が一生の健康につながっていく。今、給食センターが子</p>

	<p>どもたちのために行う努力が、将来、子どもたちにとって必ず良い結果になると考える。</p>
<p>保健給食課 手塚主査</p>	<p>【議題4「その他」】 今年度から開始した牛乳パックリサイクル事業と事業周知用のリーフレットについて、また、平成27年度「有言実行発表会」で行った牛乳パックリサイクルの事例発表について報告。 給食センター紹介動画の撮影予定について報告。</p>
<p>小山委員</p>	<p>本校ではPTAが資源回収の取組を実施している。牛乳パックを市で回収してリサイクルするのではなく、学校・PTAがリサイクルを行い、売却費を直接、学校に還元することは可能か。 また、リサイクルの結果を学校に還元する予定はあるか。</p>
<p>川上保健給食課 長</p>	<p>既に独自で牛乳パックをリサイクルしている学校もある。学校が独自でリサイクルに取り組むことは、子どもたちへの環境教育や費用面等、様々な効果があるため、是非そのように進めていただければと考える。 また、学校への還元については、還元品としてトイレットペーパーを学校に配付することを計画している。</p>
<p>小山委員</p>	<p>子どもたちが自ら処理した牛乳パックが、形を変えて子どもたちに還元されることは、環境教育上効果があり、評価できる。</p>
<p>菊池会長</p>	<p>事務局においては、本日の意見を踏まえて、様々な角度から、さらに研究し、市の学校給食のために尽力されたい。</p>
<p>保健給食課 神谷主査</p>	<p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>